

製作所協議会 第2回定期総会開催！

10月30日、本部事務所会議室において製作所協議会第2回定期総会を開催しました。本部生田書記長、角谷業務部長から来賓として参加をしていただき、1年間の総括と向こう1年間の活動方針を参加者全員で確認をし、成功裡に終了することが出来ました。

冒頭、白石議長より「鉄道車両製造事業の再編によって出向となり、問題が出てきている。今後、施策実施後の検証や将来展望を自らが考え、創り出していくことが求められている。これまでの活動を振り返り、皆で議論をしていこう！」とあいさつがありました。

また、参加者からは、

「当初、7名しかいない製作所に協議会が必要なのか悩んだ。結成してからは組織として取り組めることを良かったと思う。業種別に特化した組織があることに意義がある。」

「勤務多忙でなかなか全員が揃わなかったが、それでも色々な知恵を出し合い、様々な情報の共有、議論をすることで新たな方針が生まれ有意義だった。」

「出向してとにかく業務が大変だった。体重が激減した。工程優先のため、残業・休日出勤が当たり前になっている。」

「職場の問題について、労組の壁を越えて意見を集めてきた。これからもこの運動の繰り返しで、仲間をつくっていく。」

等の発言がありました。

まとめでは、製作所協議会として、

- ①車両製造部門の将来展望
- ②出向問題
- ③業務量に見合わない要員数
- ④労働条件・労働環境の改善

を柱にすえて、皆で心をひとつに協力し合いながら製作所らしく取り組んでいくことを再確認し、白石新議長の団結ガンバローで締めくくりました。



新体制	議長	白石琢哉 (36)
	事務長	皆川広明 (38)